

啓明

## 啓明通信



## 学校教育目標

- 将来に希望をもち、豊かな知性を磨く生徒
  - 自分に厳しく、他をおもいやる生徒
  - ねばり強く、心身をたくましくきたえる生徒
- 校訓：「独立自往」

## 今年度実践目標

「日本一、笑顔あふれる学校」  
～学校づくりの<主人公>として仲間と共に歩む生徒～

## 10組 学級菜園での取り組み

木村 浩司

12月9日(月)、10組の教室には甘くおいしそうな香りで充満していました。その日の家庭科「調理実習」でスイートポテトを作り、皆で会食していた香りです。バニラや生クリームの甘い香り、そしてなんといっても主材料のサツマイモの香ばしさは、食欲をそそるのに十分なものでした。「いただきます!」と、生徒もみんな笑顔で食べ、「来年も作りたい!!」自然とあがった声に、「じゃあ来年は、2株にしよう!」と思わず答えました。調理実習で使用したサツマイモは、生徒が大切に育て、収穫した物を使用していたからです。



本校の10組では、毎年「学級菜園」を作り、様々な活動に取り組んでいます。秋には、落ち葉を集めて畑に埋め「堆肥作り」を行い、次年度の畑作りを行います。春にはコンポストや鶏糞をまき、石灰を混ぜそれぞれ種蒔きや、苗植えを行います。その間、なぜ落ち葉を埋めるのか?コンポストのつくられ方、また石灰を蒔く意味などを授業で説明し、実践してきました。植えたものの生長を観察しながら雑草取りや水撒き、間引きなどの世話をして「収穫」を迎えます。収穫したものは、各家庭に持ち帰ったり、今年は

「大根の葉」をふりかけに、10月に調理実習で「ジャガイモ」をフライドポテトにして会食し、今回「サツマイモ」でスイートポテトを作り会食しました。

土作りから収穫そして調理・会食まで一連の流れを体験することによって、普段食べている色々なものが、それぞれ手間をかけて作られ、食卓に上り食べられていることを学ぶ機会になっていると思います、次年度も続けていきたいと思っています。



## 2学期を振り返って

坂本 雅春

先日、今年の世相を示す漢字が「金」に決まったというニュースがありました。この30年で5度目だそうです。パリ五輪の金メダルや新紙幣(お金)、大谷選手の50-50など値千金の活躍、政治の裏金問題、闇バイトによる金目当ての強盗事件など良くも悪くも「金」に纏わる事件が多かった1年ということだそうです。世の中、ニュースというどうしても悪いこと、問題などネガティブなものが多くなってしまいう中、応募した方々の多くはなるべく明るいニュースを思い浮かべようとしたことが伺えます。

本校の今年1年はどうだったでしょう?学校も同様でやはりネガティブなことが多くなりがちなのですが…、そんな中、先日、学校宛に1枚のハガキが届きました。以下、原文(一部抜粋)「～貴校の女子生徒さんが西線14条の電停で信号待ちをしていました。白杖の男性も電停にいましたが、彼が道路をわたり、目的の方へ向かうまで、やや時間はかかりましたが、彼女はずっと見守ってくれていました。このご時世、皆自分のことで忙しく人への思いやりにまで気がまわらない事が多い中、彼女のとても美しい姿(心)に感動しました。どうかこのまま美しい心の持ち主でいてほしいなあと思い、一筆とりました。感動をありがとう!!」というものです。これを受けて、過日、市川校長から「感謝状」が当該生徒に手渡されました。来年もこういうポジティブなニュースが多い学校であってほしいと心から願っています。

